

2018年
10月号
NO.0074

カトリック笹丘教会
教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標・・・「神のいつくしみをさらに生き、広めよう！」

平和を実現する人々は幸いである

主任司祭 遠山満

イエス様による、二度目、並びに三度目の御自分の死と復活の予告の後（マルコ9章33～37節、同10章35～45節参照）、弟子たちの間で同じような騒動が起こります。二度目の予告の後の騒動は、「途中で誰が一番偉いか」と議論でした。三度目の予告の後には、抜け駆けをして、自分達だけ、将来の良い地位を得ようとした、ゼベダイの子、ヤコブとヨハネに、他の十人の弟子たちが腹を立てるといふ騒動でした。これらの騒動に続く、イエス様の弟子たちへの言葉は、非常に似ています。二度目の予告の後の騒動で仰った言葉は、「一番先になりたい者は、全ての人の後になり、全ての人に仕える者になりなさい」であり、三度目の予告の後の騒動で仰った言葉は、「あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい」でした。私には、イエス様のこの言葉が、長い間心に響きませんでした。何故なら、私自身あまり出世欲がないと感じていたからです。お互いの中で「誰が一番偉いか」を言い争っている弟子達が、自分とはどこか異なる人種のように思っていた為、イエス様のこの言葉が、自分に向けられているのではないと長い間考えてきました。

このような私の思いに、回心の恵みを与えてくれる出来事がありました。今年の6月、アメリカで会議があった時の事です。会議の全日程が終了した後、日本分管区の会員、十人くらいで、あるレストランに行きました。その時、一人一人注文をしたのですが、私が注文した飲物と食事が、いつまで経っても届きませんでした。それで、テーブルで少しイライラしていたところ、他の仲間は、「多分、お客さんが一杯で忙しいんですよ」とか、店の人たちの肩を持っていました。後で確認をしたところ、二回に亘って店員さんが忘れていたとの事でした。謝罪してくれましたが、私の腹の虫は収まりませんでした。「鶏口となるも牛後となるなかれ」という諺がありますが、やはり「全ての人の後になる」ことに慣れていない自分がいて、自分を「全ての人の後」にした、店員さんをすぐに赦すことができなかったのです。

このような事は、他の人にも有り得るのではないかと思います。そして、このような時、決まって起こるのは、諍いです。けれども、もし私たちが平和を望むのなら、私たちは、イエス様が命じられる「全ての人の後に」なる事や「全ての人に仕える」事を受け入れていかねばなりません。イエス様は、言われました。「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは、神の子と呼ばれる」（マタイ5章9節）。

カトリック笹丘教会 役員会 議事録

日時 : 2018年9月23日(日) 14:30~16:00

場所 : カトリック笹丘教会 信徒会館ホール

議題

1. 巡礼(10月13日)について

(1)参加者の選定 49名ちょうど集まった。

(2)保険加入手続き 戸口から戸口までタイプの保険に加入する。

(3)スケジュールの確認

①「巡礼のしおり」を作成する。→川原さん

②平戸教会までバスは行けないので、教会まで歩く。

ただし、歩くのに自信のない方々はタクシーで。(※タクシー代は信者会より)

2. 班会について

(1)今後の進め方(前回参加していない班へのアプローチ等)

次回日程を検討する。

(2)連絡網の整備(班長・連絡員の確認等)

掃除のための班は、班構成はそのまま、もっとまとめてもよいのでは？

3. 今田神父様への千羽鶴について

9月28日(金)に、城山教会に行かれるヒルデン神父様にことづけるか信者会で届ける。

4. その他

(1)営繕報告

- ・聖堂空調点検実施については実施済み。
- ・樹木の消毒を実施したが、近隣の住民への影響を考慮して業者に委託することも検討する。
- ・側溝の点検について業者と打ち合わせを予定している。

(2)今後のスケジュール

- ・10/7(日) 拡大信者会は休み。・10/14(日) コーヒーコーナー(11:30 韓国巡礼団 来訪予定)・11/2(金) 神学院祭のためのカレー作り・11/3(土・祝) 神学院祭
- ・11/4(日) 拡大信者会・11/11(日) 七五三祝福式(ミサ中)、コーヒーコーナー
- ・11/18(日) 納骨室ミサ 14:00、「終活」勉強会・12/1(土) クリスマス飾り付け
- ・12/2(日) クリスマス・バザー

城山教会を訪問し、松尾神父・桑原進学生に今田神父様への千羽鶴を届けました。



十月はロザリオの月です。「ロザリオの祈り」を唱え、
聖母マリア様に今田神父様の病氣回復の取り次ぎを
お願いしましょう。

信仰のルーツコーナー

先月号から引き続き故米田博一氏の連載です

我が父 米田博一の信仰の歩みを辿る

故米田博一氏

米田博正

5 晩年の信仰の姿

父は仕事をリタイアしてからは、ルルドやファティマ、サンティアゴ、イスラエルなど、聖地巡礼のツアーに母と参加したり、祈りの集いに与ったりするなど、しばらく元気に過ごしていました。しかし70歳代を過ぎてから、糖尿病にともなうさまざまな病気に悩まされるようになりました。足腰もしだいに弱くなり、ミサには車イスで与るようになりました。

わたしが父を最後に小旅行に連れて行ったのは、一昨年、2017年9月でした。同年の6月、パチカンからある発表があったことがきっかけでした。既述のように、父は神父様や神学生を家に招いてもてなすことが大好きでした。かつて、両親が家で食事をともにさせていただいた、当時は神学生だった、大神学校の白浜神父様が広島教区の司教に任命されるという知らせを聞き、ぜひ司教様の叙階式に参列したいということになり、車イスを新幹線に載せて、わたしと母と3人で広島鞆町教会での叙階式に向かいました。雨中での移動でたいへんなこともありましたが、なんとか父の願いを叶えることができました。

また、これは姉から聞いたエピソードですが、ある日、死期が近いと感じていたのか、父が「わし、地獄が恐いわ」とつぶやいたそうです。その際、姉は「お父さん、なん言いようと。神様は愛よ。わたしたちは子どもみたいなもんよ。親が自分の子どもに酷いことするわけなかるうもん」と、父に返したそうです。ふだんは陽気で、社交的な性格の父でしたが、肉体的な衰えにともない、心の奥底では、人間的な怖れや不安、さまざまな葛藤があったのだと思います。

わたしも晩年の父に、生意気にも信仰について少し話しをしたことがあります。父が「死を恐れているのかな」と感じたわたしは、ある時、モーセの過越の話から、イエスの過越の神秘の話、わたしたちのこの世での死も、また一つの過越なのだろうと語りました。実際はわたし自身、死についても、永遠の命についても判らないことばかりですが、必ず愛である神がともに歩んでくださるという思いで、父と話していました。一方で、父はひまさえあれば、ひたすらロザリオを繰りながら祈りを唱えていました。





敬老会 おめでとうございます！ 2018.9.23



75歳以上の兄弟姉妹76名うち25名が参加しました。

9月29日にお誕生日を迎えるヒルデン神父様も一緒にお祝い会。



長寿を祝して、かんぱ〜い!!

ヒルデン神父様お誕生日おめでとうございます!



川上さんのハーモニカ演奏



恒例のなぞなぞ・・・「礼儀正しい人は食事の前に、胸に何かを抱きしめます。皆さんはどお？」わかるかな？
 峯さんのパフォーマンスに合わせ・・・ホホホのポーズで盛り上がりました!

編集後記

九月から十月にかけの土日は各種行事に参加し、とても充実した日々を過ごした。①ME (ワールドワイド・マリッジエンカウンター) のアジア大会 in 鹿児島のお手伝い ②上智福岡での川村信三師の講演会「遠藤周作の信仰」(「沈黙」・「銃と十字架」・「深い河」から読み解く) ③美野島司牧センターで台風のさなかに行われたカリタスジャパンの長崎教会管区セミナー「排除のない多様性社会をめざして」④大名町教会での幸田司教様の「博多にきんしゃ〜い講演会」⑤長崎で行われた長崎大司教区典礼委員会主催の公開典礼講座「キリスト教の死生観と葬儀」(講師は石井祥裕氏) いっぱい、いっぱいのお恵みを神に感謝。(Y. K)